

令和6年度 第10回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和7年2月18日(火) 午後6時30分～午後8時00分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委 員> 板倉 しをり 伊藤 貴史 稲本 泰孝 井上 眞一
太田 眞由美 木村 友浩 柘植 伸夫 戸田 博基
永井 靖美 服部 啓二 林本 基 藤井 康博
藤村 匡泰 本多 鋭孝 山内 由美子
<欠 席> 永山 慎二 松山 純成
<事務局> 杉浦 智文(拳母事務所長)
田嶋 優俊(地域支援課担当長) 青木 剛(地域支援課主任主)

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 地域課題解決事業について
(1) 前回の振り返り
(2) 令和7年度地域課題解決事業計画について
- 4 今後の進め方
(1) 意見聴取について
- 5 連絡事項

■議 事(要約)

3 地域課題解決事業について

- (1) 前回の振り返り
令和6年度豊田市災害対策本部配備基準による避難所運営基準を紹介
豊田市避難所運営マニュアル及び崇化館地区避難所運営マニュアルを紹介
- (2) 令和7年度地域課題解決事業計画について
マイタイムライン関係事業の見直しについて
内容は別紙のとおり。

4 今後の進め方

地域からの意見聴取について過去の実績を紹介し、実績の内容を踏まえて今後の展開について協議を行った。
内容は別紙のとおり。

4 連絡事項

- ・地域会議委員任期2年の1年目であるが諸事情による交代の意向を確認した。

《今後の予定》

●令和6年度 第10回崇化館地域会議

日 時：令和7年3月18日(火) 午後6時30分～
場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室

＜令和 7 年度地域課題解決事業について＞

- 事務局 令和 7 年度地域課題解決事業はマイタイムラインの普及啓発という計画になっているが避難場所がここでいいかという不安の中で見直しを相談したい。
防災フェアについては、コミュニティ会議主催の夢フェスタで災害関連の企画を検討中ということで、避難行動要支援者対策をご検討いただきたい。
- 委 員 非常時に民生委員に要支援者の面倒を押し付けられても無理である。
- 事務局 民営委員に支援して下さいということではなく、情報をお持ちですねという話。
- 委 員 民生委員が担当していない高齢者は沢山いる。誰が担当するということではなくて、自分の身は自分で守るのが一番先で、必要なら親族が見るべき。
- 事務局 誰も支援者がいない人をどうするかという問題。
- 委 員 市役所はどうするのか。
- 事務局 避難者を受け入れる避難所を考える。
- 委 員 着眼点がずれている。まず避難場所の確保、そして避難場所へ行くまでの手段を皆さん心配している。誰がどうというよりも、提案しているバスを具体的な方向にできるかどうか一番皆さん心配なこと。独居老人等の足のない方を避難場所まで誘導できる手段、それと垂直避難ができるかどうか、そこがマニュアル等ではなくて一番大事なことだと思う。
- 事務局 垂直避難は調整中。
- 委 員 災害は今発生するかもしれない。現時点でどんな用意ができているかが聞きたい。
- 委 員 何処にどうやって避難するのか考える前提として対象者の実態把握が必要。
- 委 員 <災害対策の取組で先行している平芝自治区が状況を説明>
- 委 員 市の方針では、崇化館中学校の収容規模は 2 千 4 百名で地域の避難行動要支援者の避難を優先するとしている。自力で避難できる人は別の場所への避難が必要だが、そもそも崇化館中学校に要支援者全員が収容可能かどうか検討する必要がある。地元の避難所に関する説明会では指定避難所より親戚知人宅の方が環境が良いと推奨するが、「皆と一緒にいた方が安心だから崇化館中学校へ行きたい」、「食事が貰えるから」といった意見がある。しかし避難所では食事は 3 日間くらいは出ないと言われる。
- 委 員 障がい者は家族と利用施設が支援（見守る）するような関係を市がリードして欲しい。要支援者の実態というのはデータと現状に違いがある。民生委員が責任を持たなければいけないという訳ではないが、マニュアルでは自治区で把握してくださいと言っている。自治区に入らない人をなくしていつて自治区の強化をしないと成り立たない。市は自治区が大事だと発信して欲しい。
- 委 員 崇化館地域と地形が似ている岡山県真備町の平成 3 0 年災害について報告。
1 5 0 年確率降雨程度の被害で豊田市でも起こり得る印象である。
床上 2 メートル水没すると家具が浮き出し屋内避難を阻害し被害は増加する。
- 委 員 いつ避難したらいいか基準が欲しい。
- 委 員 今は矢作川の水位で避難指示が出される。
- 委 員 東海豪雨の時も大丈夫だと言って逃げなかった人が多かった。今も避難指示に従わない人は非常に多い。避難経路は地域によって異なるが、風水害は事前に情報があるので、まずは個々に自分の命を守るために動いてもらう。そういったことを自主防災会などで知らしていく。避難所に着いてからはどこも同じことをやるので訓練を行うのに着いてから何をするのかという組織を、訓練の仕方を学校単

位で皆がそれぞれ行えば、バラバラになってもそれぞれの地区が安定して一定に稼働できるやり方をすれば訓練に意義が成り立つのではないか。

会 長 避難所での訓練ということ。

委 員 自家用車での避難を前提とする場合、子どもの受渡しで小学校と調整ができない。学校単位で管理しようとして平芝だけで他はどうすると言われる。だから崇化館地域で方針を決定する必要がある区長会で議論しないと先へは進まない。

委 員 決める以前に実態の把握が必要。

委 員 最終的に水没する小学校も一時集合場所にはなるので集合場所からの移動手段としてバス配車を検討すべき。市営バスもあるし名鉄バスも駐車場から避難する必要がある際に避難者を載せて毘森公園へ避難するなどが考えられる。交通渋滞等の問題もあるが基礎的な部分ができないままでは重大な調整ができるタイミングではない。

事務局 実態把握は現実問題として12自治区同時に実態を把握するのは無理だと考える。全体の調整という話になると崇化館以外のエリアにも関係する。しかし地域住民がどう動くべきか考えるときお話のように、地域の状況、実態というものをしっかり捕まえてその上で時間をかけて組み立てる必要がある。そうすると区長会とも相談をする必要がある。

委 員 要支援者対策は自治区が取り組む問題で区長会との連携が必要。

委 員 要支援者対策とは要支援者をどう助けるのかということを考えて欲しいということか。であれば、その話は区長会であるとか自主防災会とかと取り組むべき話であって、この地域会議の中で要支援者をどうするのかという話をしても、PTAの代表として参加している立場で言うと、この地域を明るくしたいとか、困り事なんですかということであるのに、要支援者を助ける方法はどうしましょうかと言われても混乱する。

事務局 今回協議願いたいのは、令和5年度に地域会議が提言した内容に対して計画した内容の変更を行いたいということで、昨年実施した防災フェアを継続するか、現状の課題である要支援者対策を検討してはどうかという問いかけである。

委 員 地域会議で決定したこととして区長会へ依頼したら区長会が動くと考えられる。だから地域会議から区長会へ要支援者対策を要請するべきだが議論のベースになる資料が必要なのでそのところをお願いしたい。

委 員 各自治区によって異なるが7年度は民生委員の交代時期で細かいことまでできないと思う。

委 員 区民登録があれば実態把握は可能と思われるが未加入者は困難である。

委 員 まず近くに避難場所を増やして欲しい。駐車場とか高い場所に5分から10分ですぐに避難できる場所が必要。民生委員だけで何ができるのか。要支援者には市が防災無線を無料で配布すべきである。民生委員は何か起きたときに、どうされますかと問いかけするくらいでそれ以上はやってはいけないということ。どこへ誰が連れて行くかが課題。

委 員 人手が圧倒的に不足するので、自治区の中で災害ボランティアを募集しておくしかない。少数の民生委員に押し付けようとは思わない。

事務局 地域課題解決事業の見直しについては、議論を地域支援課で受け止めて進める。

委 員 地域会議にどうしようではなくて市役所がどうしてくれるのか教えて欲しい。

事務局 現状から言うと中々個別には見えないが原則は自治区で何とかしてくださいという話になっている。

委 員 年代別にアンケートを取りましょうという話があったがどうなった。

事務局 意見聴取の議論を次回へ持ち越す。